

食品総合研究所だより

第 1 号 平成 21 年 7 月 29 日 発行

※左図は地方独立行政法人青森県産業技術センター（AITC は略称）のシンボルマークです

◆所長就任に際して

地方独立行政法人 青森県産業技術センター
理事兼食品総合研究所長 長津秀二



1 はじめに

4月に食品総合研究所長に就任しました長津です。私は3月まで青森県の食品研究機関である旧下北ブランド研究開発センター（むつ市大畑町、06から08年の3年間勤務）の所長を務めていました。その私がいきなり産技センターの理事そして食総研の所長に就任したということで、産技センターの職員の皆さんはもちろん、産技センターに期待と関心を寄せていただいている外部の皆さんも驚かれたのではないのでしょうか。実は私も驚いているうちの一人です。

私は、1975年水産学科を卒業し、直ちに青森県庁に入りました。漁政課に配属され以降研究所長になるまでのほとんどの期間を「むつ小川原開発や電源開発などの大規模開発行為と水産業との調整」を担う行政職スタッフ、管理・監督者として水産行政職部門で過ごしました。

入庁した頃は水産業界が最盛期への階段を駆け上がっていて、八戸・大畑地区で水産加工団地の整備計画が積極的に進められた時代でした。80年代には水産物の漁獲が80万トン、1200億と現在の3倍程度の規模を記録しています。90年ごろには水産業界は土地バブルがはじけたのに呼応するかのように停滞期が始まります。

水産加工会社、漁業会社の経営破綻が相次ぎました。しかし、この停滞期にあっても、しっかりと自らの加工技術基盤を確立し、市場で存在感を増し続けたイカ・サバ加工メーカーに代表されるような企業群がありました。これらの企業は特徴ある技術・知財を重視していました。

今現在は、未曾有の経済危機と言われていますが、技術・知財を重視した研究・開発を基にした対応で危機を克服できると思います。私は、青森県水産業、食品加工業の持続的発展のためには、これを担う人材を正當に評価し、より創造的な活動ができるようにし、そしてその成果を広く活用できるようにすることが大切だと考えてきました。

企業、団体の大小を問わず広く産業界に役立つ成果を、県や地域の持続的発展を可能にする成果を数多く生み出せるように食総研の研究人材を支援し、リードしていくことが私の役割だと思っています。

2 産業振興に向けて

1956年に創設された水産物加工研究所をはじめとして旧青森県ふるさと食品研究センターの3機関は、青森県の産業振興のために食品加工研究の分野において創る、究める、役割を休むことなく果してきました。

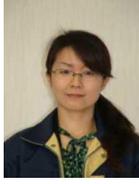
新しい技術は日々生まれます。そして、また新しい海原をつくっています。地球規模で考えるべき課題も増え、社会システムも変化しています。青森県における産業の振興及び経済の発展を目指す産技センターの活躍の場は広大であり、果たすべき責務は重大であります。

◆平成21年度の新体制 4月からの新体制です。

山日企画経営監－企画経営担当（高田主任研究員）

- 長津所長－◆総務調整室（岡田室長、工藤主幹、吉田主事、大柳非常勤事務員）
- －◆水産食品開発部（成田部長、中村研究管理員、長根研究管理員、小野寺主任研究員、内堀非常勤労務員）
- －◆水産食品化学部（石川部長、田村主任研究員、白板主任研究員、阿部非常勤労務員）

◆新スタッフ紹介 新しく配属になったスタッフを紹介します。

<p>長津所長</p> <ul style="list-style-type: none"> ①下北ブランド研究開発センター ②アイデア・トラップからの脱却 ③庭の「椋鳥の巢」の番人 	<p>岡田室長</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三八地域農林水産部 ②4年間お世話になりたい ③大きい球から小さい玉まで如何様にも転がします 
<p>成田総括研究管理員</p> <ul style="list-style-type: none"> ①下北ブランド研究開発センター ②青森県ならではの水産加工品の開発 ③良質な温泉の探求 	<p>高田主任研究員</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三八地域農林水産部 ②体力でのりきります ③サッカー観戦 
<p>大柳非常勤事務員</p> <ul style="list-style-type: none"> ①なし ②元気な挨拶を大切にします ③散歩とピアノ 	<p>内堀非常勤労務員</p> <ul style="list-style-type: none"> ①なし ②明るく楽しみながら…をモットーにしています ③映画館で観る映画 

↑①前任②仕事の目標③趣味を表しています

【転出者】（田畑所長（東青地域農林水産部へ（再任用））永峰次長（下北ブランド研究所へ）、藤田室長（林政課へ））

【編集後記】組織変更により何かとあわただしい年度が始まりました。ようやく食品総合研究所だよりを発行することができました。今後とも変わらずよろしくお願いいたします。

食品総合研究所だより

編集・発行
地方独立行政法人 青森県産業技術センター
食品総合研究所

〒031-0831
青森県八戸市築港街二丁目10番地
TEL 0178-33-1347 FAX 0178-33-0321
<http://www.aomori-itc.or.jp>

第1号 平成21年7月29日